

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	一般教養A1（ビジネスマナー）	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修	時間数	30時間	
単位数	2 単位				授業形態	講義	
教科書/教材	教科書「2019年版ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト」						
担当教員情報							
担当教員	瀬戸育子			実務経験の有無・職種	有・研修講師、コンサルタント		
学習目的							
本授業を履修する学生は、「ビジネス能力検定ジョブパス3級」に合格する為のビジネススキルとビジネスマナーの基礎能力を身につけることで、インターンシップ、就職活動での「なりたい自分の姿」を意識できるようになる。							
到達目標							
この科目では、2019年7月実施の「ビジネス能力検定ジョブパス3級」に合格することを目標にしている。具体的には仕事の基本となる8つの意識を理解すること、報・連・相などのコミュニケーションスキルの基本を理解すること、言葉遣い・身だしなみ・挨拶・面接の基本マナー・電話応対・メールの書き方を理解すること、メディア(新聞、インターネット)からの情報収集ができるようになること、ビジネス用語の意味を理解することを目標にしている。							
教育方法等							
授業概要	主目的が検定合格であり、また筆記試験という特性上、基本は講義と過去の問題を解きながら進めていく。しかしコンテンツにコミュニケーションやマナーの要素が含まれている為、最終的には机上の理解ではなく、「身につけること」が目標であることを意識しながら授業を進める。						
注意点	この授業では、ティーチングではなく、学生との2wayコミュニケーションを重視する。キャリアの教育の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（携帯電話の扱い等の詳しい内容は最初の授業で説明）。マナーを遵守できない学生には授業中の途中退出を求める場合もある。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	70%	試験結果を評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	授業態度	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ビジネスとコミュニケーションの基本			ビジネス能力検定について理解し、「キャリアと仕事へのアプローチ」「仕事の基本となる8つの意識を理解する」			
2回	ビジネスとコミュニケーションの基本			「コミュニケーションとビジネスマナーの基本」について理解する			
3回	ビジネスとコミュニケーションの基本			「指示の受け方と報告・連絡・相談」「話し方と聞き方の基本」を理解する			
4回	ビジネスとコミュニケーションの基本			「来客応対と報恩の基本マナー」「会社関係での付き合い」について理解する			
5回	仕事の実践とビジネスルール			「仕事への取り組み方」「ビジネス文書の基本」について理解する			
6回	仕事の実践とビジネスルール			「電話応対」「新聞からの情報収集」について理解する			
7回	仕事の実践とビジネスルール			「統計・データの読み方・まとめ方」「会社を取り巻く環境と経済の基本」について理解する			
8回	模擬試験(第一回)			過去問題にチャレンジし、理解度を知る			
9回	模擬試験(第二回)			過去問題にチャレンジし、理解度を知る			
10回	ビジネスマナーの基本①			就活に向けたビジネスマナーの基本(第一印象・五原則)を理解する			
11回	ビジネスマナーの基本②			就活に向けたビジネスマナーの基本(五原則)を理解する・前期の学習内容を復習し理解する			
12回	就職活動のマナー①			電話応対のマナー・Eメールのマナーを習得する			
13回	就職活動のマナー②			手紙・封書のマナー・会社訪問のマナーを理解する			
14回	就職活動のマナー③			学んだことを実践で形にする			
15回	期末試験に向けて前期の総まとめ			前期の学習内容を復習し理解する			